

イスコチン原末 イスコチン錠 100mg

【この薬は？】

販売名	イスコチン原末 ISCOTIN Powder	イスコチン錠 100mg ISCOTIN Tablets 100mg
一般名	イソニアジド Isoniazid	
含有量	1g (1g 中)	100mg (1錠中)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗結核剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は合成の殺菌性抗結核薬で、おもに活発に分裂しているマイコバクテリアに対して作用して、結核菌の増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

〈適応症〉

肺結核およびその他の結核症

〈適応菌種〉

本剤に感性の結核菌

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・肝臓に重篤な障害がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去に精神障害にかかったことがある人
- ・アルコール中毒の人
- ・てんかん等の痙攣（けいれん）性疾患または過去にこれらの疾患になった人
- ・薬物過敏症の人
- ・血液に障害のある人、出血しやすい人
- ・腎臓に障害のある人、あるいはその疑いのある人
- ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人、あるいはその疑いのある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	イスコチン原末	イスコチン錠 100mg
1 日量	200～500mg (4～10mg/kg)	2～5 錠
飲む回数	1 日 1～3 回に分けて、毎日または週 2 日	

- ・1 日量成人は 1g (10 錠) まで、13 歳未満は 20mg/kg まで増量されることがあります。
- ・他の抗結核剤と併用されることがあります。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。気がついたときに、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

痙攣、昏睡、代謝性アシドーシス（頭痛、眠くなる、意識の低下、深く大きい呼吸）、高血糖（体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える）があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。過量使用の治療薬としてジアゼパム、炭酸水素ナトリウム、ピリドキシンがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・重篤な肝障害がおこることがあるので定期的に肝機能検査がおこなわれます。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・ヒスチジンを多く含有する魚（マグロなど）やチラミンを多く含有する食物（チーズなど）はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
劇症肝炎等の重篤な肝障害 げきしょうかんえんとうのじゅうとくなかんしょうがい	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、体がだるい、吐き気、食欲不振、意識の低下
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (トキシック エピダーマル ネクロライシス : テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
紅皮症 (剥脱性皮膚炎) こうひしょう (はくだつせいひふえん)	ほぼ全身の皮膚が発赤する、発熱をしばしば伴う、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根など)のはれ
SLE 様症状 エスエルイーようしょうじょう	体がだるい、関節の痛み、発熱、顔の赤い発疹、体重減少
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい

重大な副作用	主な自覚症状
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重の増加
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
視神経炎 ししんけいえん	視力の低下、中心部が見づらい、目のかすみ、目を動かすと痛い
視神経萎縮 ししんけいしゆく	目のかすみ、見えにくい
末梢神経炎 まつしょうしんけいえん	指先のしびれ、筋力の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、発熱をしばしば伴う、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、体がだるい、むくみ、体重の増加、体がかゆくなる、急激に体重が増える、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ、体重減少、顔や手足の筋肉がびくつく
頭部	しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、意識の低下、急な意識の低下、一時的にボーっとする
顔面	顔の赤い発疹、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ、視力の低下、中心部が見づらい、目のかすみ、目を動かすと痛い、見えにくい
口や喉	咳、吐き気、嘔吐、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血、喉の痛み、血を吐く
胸部	息切れ、息苦しい
腹部	腹痛、お腹が張る、食欲不振
手・足	関節の痛み、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、指先のしびれ
皮膚	ほぼ全身の皮膚が発赤する、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、発疹、皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる
筋肉	筋力の低下

部位	自覚症状
便	下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる

【この薬の形は？】

販売名	イスコチン原末	イスコチン錠 100mg
形状	粉末 	素錠 
直径	-	8.8mm
厚さ	-	3.4mm
重さ	-	200mg
色	白色	白色
識別コード	-	NF 702

【この薬に含まれているのは？】

販売名	イスコチン原末	イスコチン錠 100mg
有効成分	イソニアジド（日局）	
添加剤	-	トウモロコシデンプン、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アルフレッサ ファーマ株式会社

(<https://www.alfresa-pharma.co.jp/>)

製品情報部 くすり相談室

電話番号：0120-060334

受付時間：9時～17時

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)